

4. 優先整備区間(案)の検討

3) 優先整備区間(案)の選定



対象施設	優先整備区間	津波浸水想定区間	飛砂・滞砂区間
4車線	〓	〓	〓
2車線	〓	〓	〓

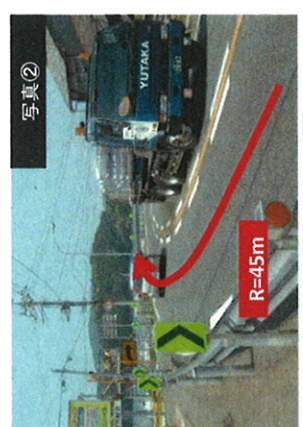
凡例	
防災施設要対策箇所 ※1	●
土砂災害危険箇所 ※2	●
災害通行止め箇所(発生回数)	✕ ×8
事故通行止め箇所(発生回数)	✕ ×5
運行規制区間(規制基準)	⚡

※1: 道路防災点検により対策が必要と判断された箇所
 ※2: 土石流、樹すべり、急傾斜地の崩壊が発生するおそれのある箇所

優先区間	選定の根拠
こはま 小浜～田万川	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害危険箇所や災害による通行止め実績が多数ある。 道路縦断勾配が急(7%超)な箇所と平面線形不良(R=150)箇所が複合している箇所があり、事故発生の原因となっている。 アンケート結果では『災害』『危険』『線形(道路構造)』の課題意識が高く、当該区間の課題と一致している。 ヒアリングにおいても、当該区間の道路線形の課題に対する意見があった。
きよ 木与	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に法面の監視を実施している区間で、降雨状況と法面の状況の変状の確認により、年に複数回通行規制が発生し、地域住民の生活等に大きな支障をきたしている。 アンケート結果では『災害』の課題意識が最も高くなっている。
おおい 大井～救	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果で課題意識の高かった『渋滞』『災害』『危険な線形(道路構造)』の課題が集中している。 ヒアリングにおいては、「越波の問題や線形の悪さが課題」、「休日・イベント時等の渋滞が問題」、「休日・イベント時等の渋滞に関する意見があった。



▲ 渋滞状況(救市街地)



▲ 線形不良箇所の状況



▲ 越波区間(救市大井)



▲ 土砂崩れ発生箇所(阿武町木与)



▲ 縦断線形急勾配箇所(益田市飯浦)